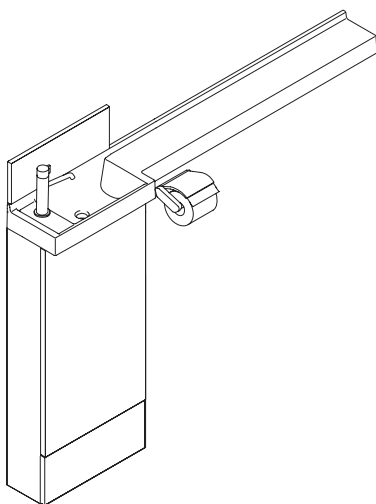
保証書付

トイレ手洗い

アクアフィット

取扱説明書

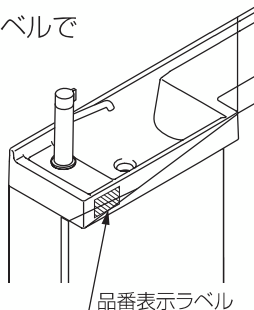
このたびは当社商品をお買い求めいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

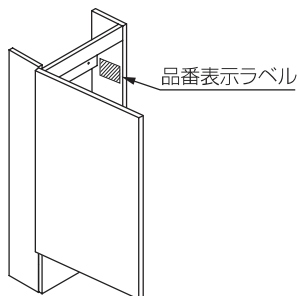
品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

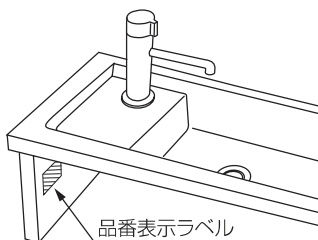
■カウンター

カウンター前エプロンに貼ってあるラベルで
品番を確認してください。

（例）

■ベースキャビネット

扉を開いて、本体側面に貼ってあるラベルで
品番を確認してください。

（例）

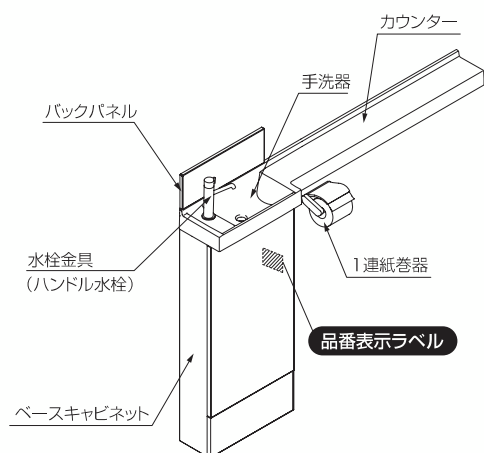
■横引き配管用前カバー

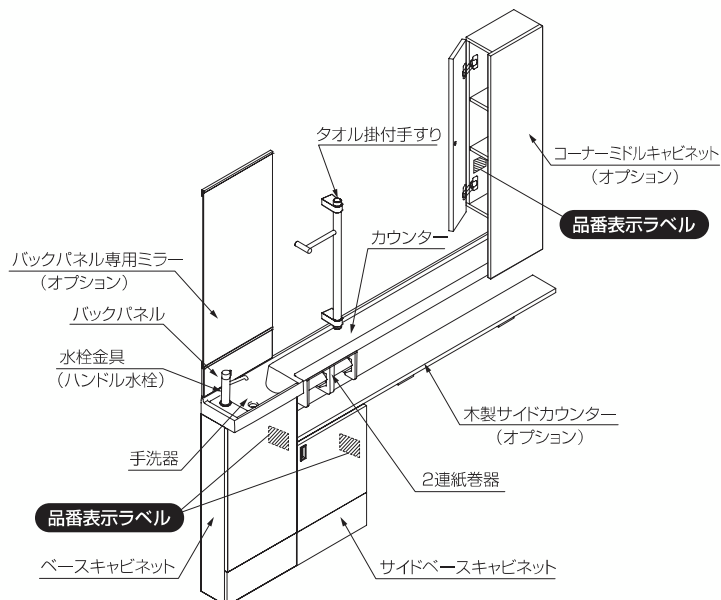
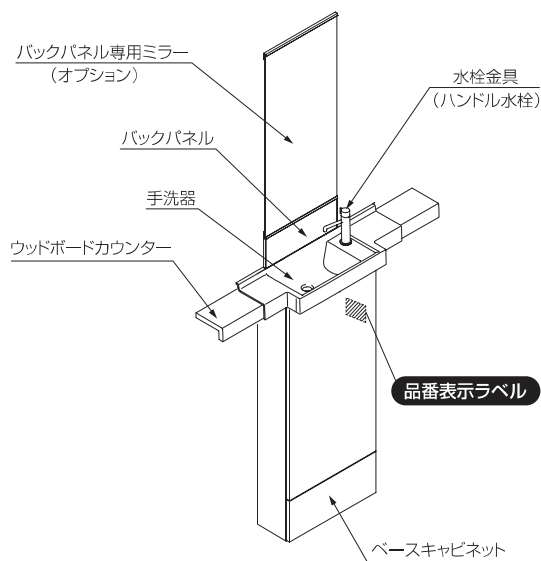
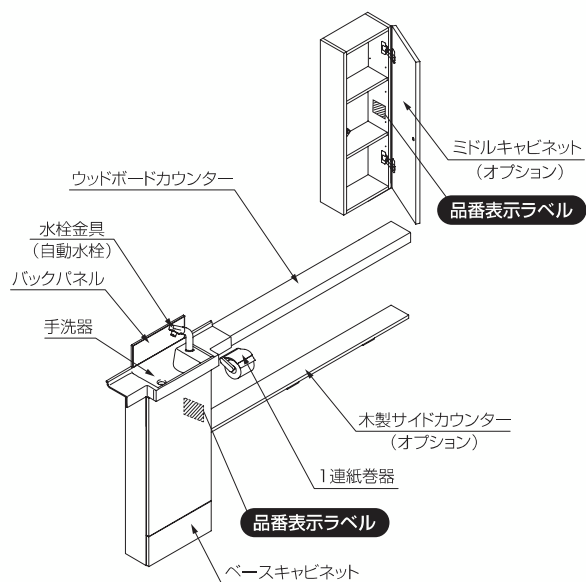
前板（小）を外して（外し方はP.18参照）、本体
側面に貼ってあるラベルで品番を確認してくだ
さい。

（例）

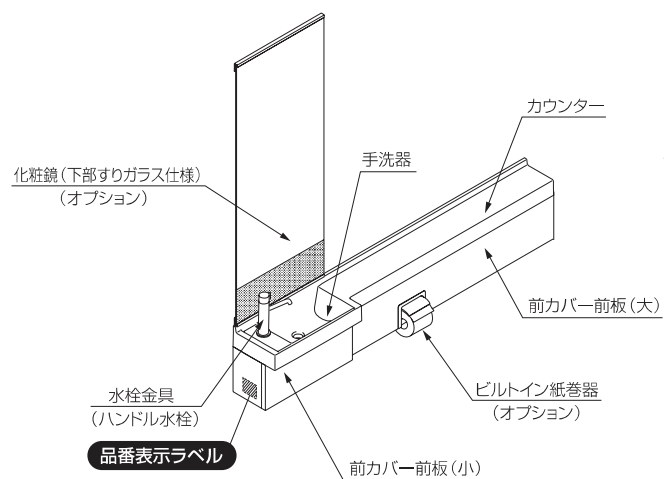
各部のなまえ

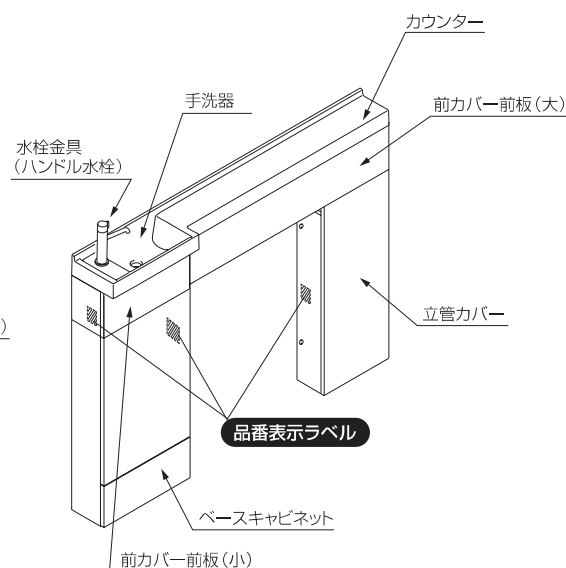
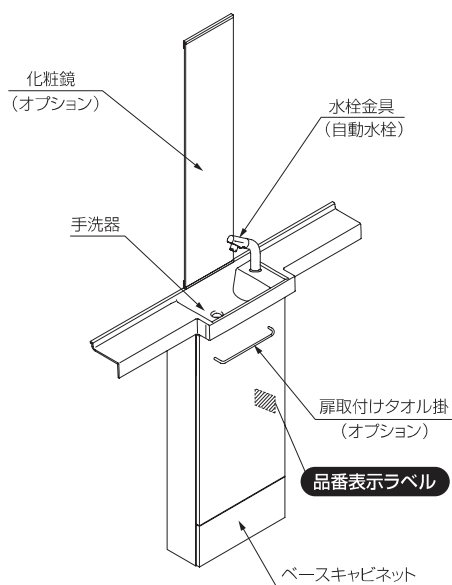
●商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
●図は商品の例示であり実際の商品と異なる場合があります。

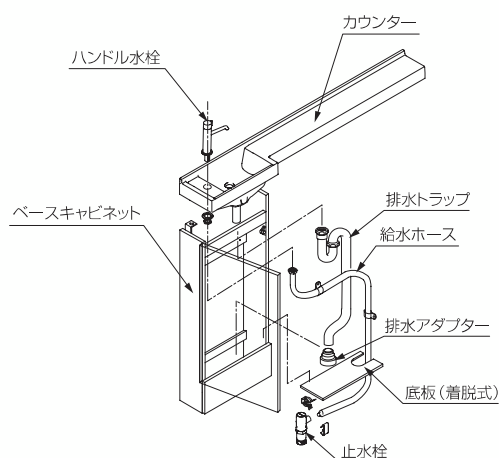
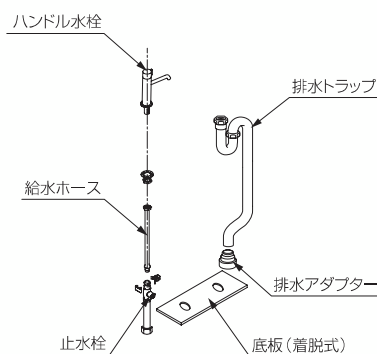
■カウンターキャビネット（ベーシック）タイプ

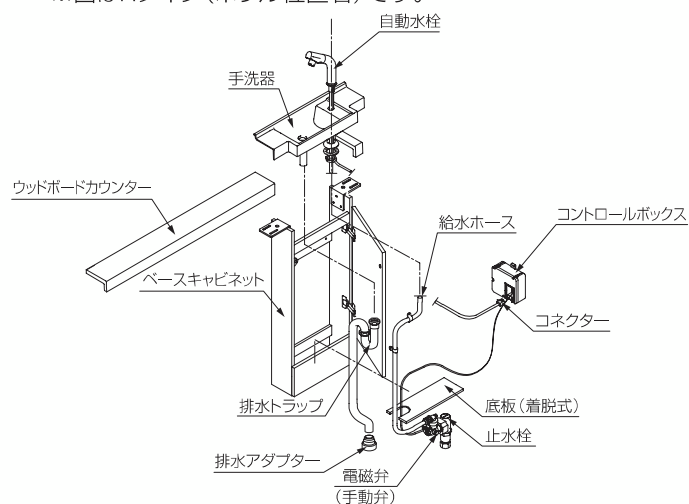
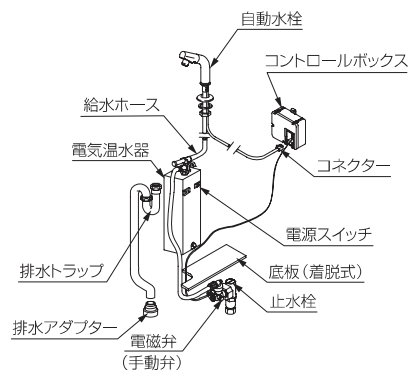
※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

■カウンターキャビネット（フルパック）タイプ

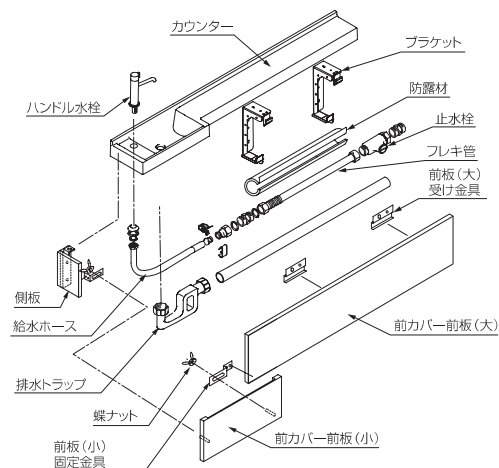
※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

■ウィングカウンター（ウッドボード）タイプ

■カウンターキャビネット（ウッドボード）タイプ

■カウンターフロートタイプ（横引き配管付）

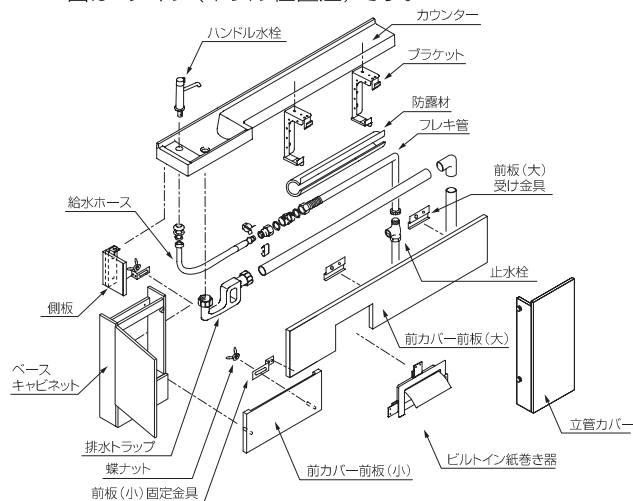
※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

■カウンターキャビネットタイプ（横引き配管付）

※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

■ウィングカウンタータイプ

■カウンターキャビネット（ベーシック）タイプ（給水底板下接続）の場合

※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

底板上接続の場合

■カウンターキャビネット（ウッドボード）タイプ（自動水栓）の場合

※図はRタイプ（ボウル位置右）です。

温水自動水栓の場合

■カウンターフロートタイプ（横引き配管付）の場合

※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

■カウンターキャビネットタイプ（横引き配管付）の場合

※図はLタイプ（ボウル位置左）です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告 ……… 「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意 ……… 「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ …………… 「注意しなさい!」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⊘ …………… 「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

…………… 「分解してはいけません!」

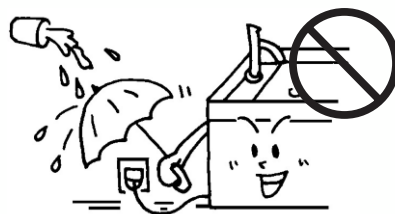
…………… 「指示した場所に触れてはいけません!」

…………… 「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

…………… 「電源プラグをコンセントから抜いてください!」

⚠ 警告

電気部品に水をかけない。

スイッチ、コンセント等の電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。
※故障や漏電、感電の恐れがあります。

分解・修理・改造しない。

※故障や漏電、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

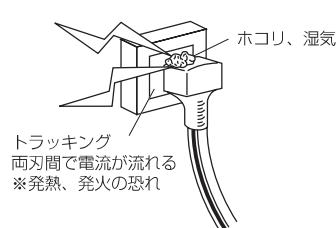
電源は必ず専用の100Vコンセントから取り出してください。

※電気容量を超えると、コードが発熱して火災の恐れがあります。

電源コードは束ねたまま使用しない。

※コードが発熱して火災の恐れがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリや湿気をふきとってください。

※ホコリや湿気がたまると、トラッキングにより火災の恐れがあります。

扉が傾いたりガタついている場合は扉の調整や付けなおしを行ってください。

※扉が外れてケガや破損の恐れがあります。
対処方法は「故障かな？と思ったら」28ページ をご覧ください。

商品がガタついたり、破損や故障した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

※使用を続けるとより大きな損害を引き起こしたり、ケガをする恐れがあります。
（29ページ をご覧になり点検·修理を依頼してください。）

※電気機器が組み込まれているトイレ手洗いでは、使用中止の際必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が破損し、ケガをする恐れがあります。

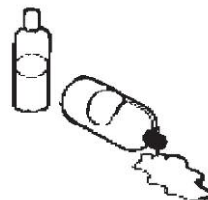
塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。

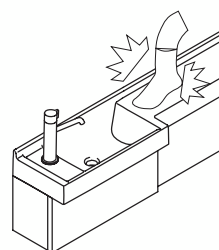
※水に反応して発生するガスが金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

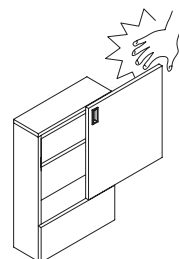
排水口に有機溶剤や薬品を流さない。

※排水管に穴が開いて、漏水する恐れがあります。

カウンターやミラーなどの樹脂（プラスチック）に化粧品や洗剤を付けたまま放置しない。

※化粧品や洗剤の中には樹脂に悪影響を与えるものもあります。
放置するとひび割れや変形して部材が外れ、ケガの恐れがあります。
すぐにふき取ってください。

カウンターに乗ったり、扉や棚、紙巻器などを強く引っ張ったりしない。

※無理な力をかけると部材が外れて、破損やケガの恐れがあります。

サイドベースキャビネットの扉裏側の金物には触らないでください。

※金物で指をはさんで、ケガをする恐れがあります。

扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください。

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、建築側配管と水栓本体の水抜き操作を行ってください。

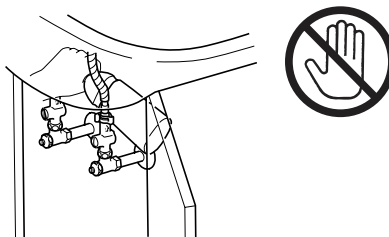
※水抜き操作は水栓により方法が異なります。詳細は「冬期凍結の恐れがある場合」26～27ページをご覧ください。

※配管が凍結破損により漏水し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

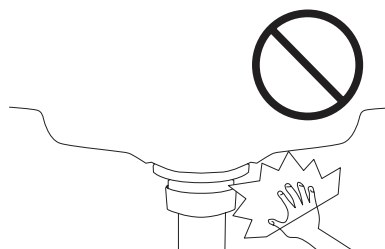
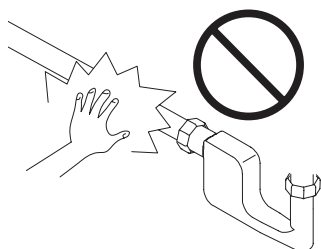
水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

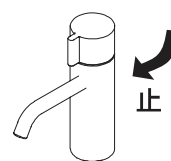
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※ヤケドをする恐れがあります。

漏水に注意

配管をつかんだり、収納物で配管に力を加えないでください。

※配管がずれて、漏水する恐れがあります。

断水時は水栓のハンドルを「止水」の位置に戻してください。

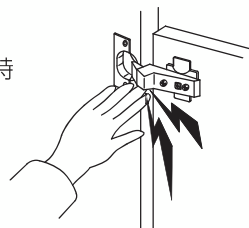
※吐水の位置で断水が終了すると、水があふれて漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

洗面器に熱湯を注がない。

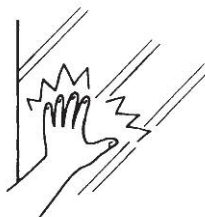
※急激な温度変化により洗面器が割れて漏水や財産損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

安全上のご注意・使用時のご注意

⚠ 注意

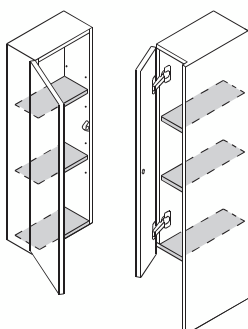
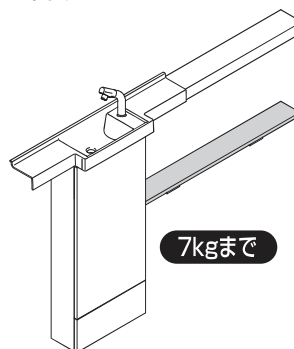
キャビネットの蝶番に触らない。

※指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。

鏡に手をついたり、たたいたりしない。

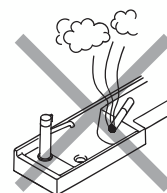
※無理な力をかけると、鏡が割れてケガや破損の恐れがあります。

許容積載量（耐荷重）

キャビネットの棚に許容積載重量（耐荷重）以上のものを乗せたり、収納しないでください。

※破損や落下によるケガの恐れがあります。

※許容積載量とは、棚にほぼ均等に物を乗せた場合の値です。

お願い

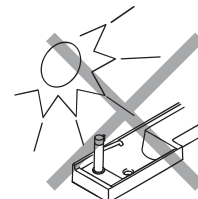
ストーブ等の暖房機器や火のついたタバコやマッチ等の火気を近づけない。

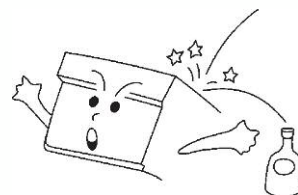
※変形やコゲあとがつく恐れがあります。

キャビネットに水などをこぼさない。ぬれたらすぐにふき取ってください。

※表面だけではなく、水がたまりやすい上下端部もふき取ってください。

※木質でできていますので水を含んでふくらんだり、表面材がはがれる原因となります。

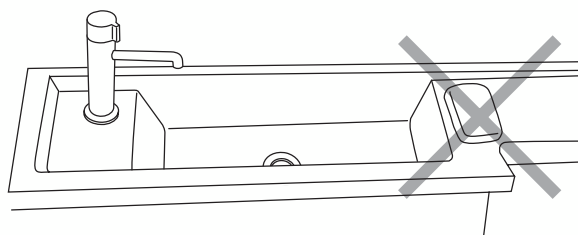
直射日光やスポット照明、殺菌灯を直接当てないでください。

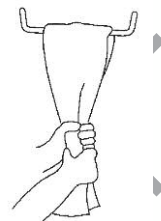
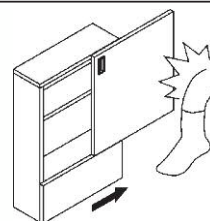
※変色や変形の恐れがあります。カーテン等で必ずさえぎってください。

お願い

カウンターや洗面器に重いものや硬いものを落とさない。
※キズ、ヒビ割れの原因になります。

ヘアピン、カミソリの刃等の金属類を放置しない。
※サビが付着して取れなくなる場合があります。

毛染め剤、パーマ液、うがい薬等を付けたまま放置しない。
すぐに洗い流すかふき取ってください。
※放置すると変色したり、シミが残ることがあります。

カウンターに石けんを置く時は、受け皿を使用してください。
※カウンター上に直接石けんを置いたまま長時間放置すると、カウンターが変色する場合があります。

受け皿やハンドソープの下は石けんカスがたまりやすいため、こまめにふきとってください。
※石けんカスが固まると落ちにくくなります。

手洗器の排水口にコンタクトレンズ、指輪、化粧品などのキャップ等の小さなものを流さないようご注意ください。
※排水管が詰まり排水があふれる場合があります。
誤って排水口に落としてしまった場合は、水を流す前に排水口・排水トラップから拾い出してください。排水トラップの確認方法は、16〜18ページ「排水トラップのお手入れ」をご覧ください。

タオル掛に掛かったタオルを強く引っ張らないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

サイドベースキャビネットの扉を開いた状態で叩いたり、けっとばしたりしないでください。
※扉の破損やケガをする恐れがあります。

ご使用方法

水栓金具

自動水栓（AM-67（100V）-MB2）

水を出す・・・・・・・・ センサーに手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。
※定流量弁を装着しているため、一定以上の流量（5L/分、寒冷地仕様は6L/分）は出ません。

水を止める・・・・・・ 手を引くと約1～2秒後に止水し、ほのかライトが消灯します。
※1分間吐水が続くと自動的に止水します。

●詳しくは水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

●自動水栓

センサー

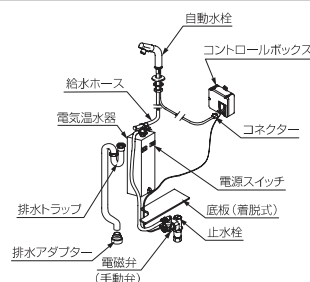
ほのかライト

温水自動水栓（AM-67（DEN）-MB3）

■ご使用の前に

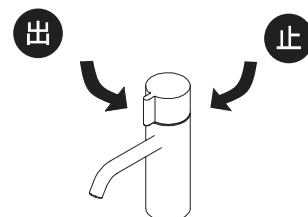
①機器内が満水になるまでの間、空気を巻き込みながら吐水します。
機器内の空気が抜け、吐水口から安定した水が出るまで、流し続けます。

②吐水口から安定して水が出るようになったら、電気温水器の電源スイッチを「入」にしてください。

●詳細については、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

ハンドル水栓（LF-48-MB3）

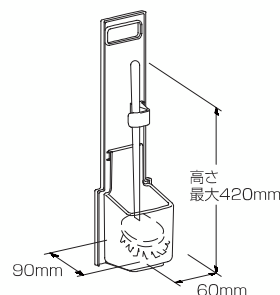
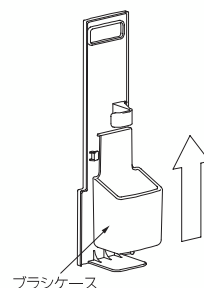
水を出す ・・・・・・ハンドルを反時計回りに回す。
水を止める ・・・・・・ハンドルを時計回りに回す。

⚠ 注意

ハンドル操作はゆっくり操作してください。
※急に開閉すると急激な圧力変動により配管が破損し、漏水や家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

オプション品

ブラシ収納（BB-AU2）

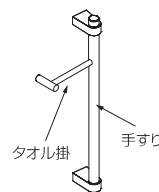
●下記より小さいトイレブラシが収納可能です。
高　さ：最大420mmまで
ブラシ：90mm×60mm以下

●お手入れの際には、ブラシケースを上にスライドさせ、取り外してから住居用洗剤を付けた布で汚れをふき取るか、水洗いしてください。

タオル掛付き手すり（LKF-1S-MB2）

●詳しくは専用の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

●手すり部の最大耐荷重は590N（60kgf）です。
※それ以上の荷重をかけると、外れてケガをする恐れがあります。

●タオル掛を手すりとして使用しないでください。タオル以外のものを掛けないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

紙巻器

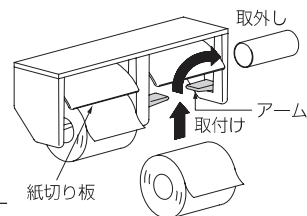
2連紙巻器（CF-A63-MB2）

■トイレットペーパーの交換

取外し・・・・・ ペーパーの芯がアームから外れるまで上に持ち上げ、トイレットペーパーを手前に取り出します。

取付け・・・・・ ペーパーの芯にアームが引っ掛かるまで、トイレットペーパーを上に持ち上げます。

取外し
アーム
取付け
紙切り板

※ペーパーを間違えてセットした場合は、無理に外そうとせずペーパーを紙切り板に押し当てながら、ゆっくりと手前に引き出してください。無理に外すと破損する場合があります。

■芯なしペーパーの使用方法

芯なしペーパーを使用される場合は、別売りの芯棒が必要です。

芯なしペーパー用芯棒品番（別売）：A-4326

●詳しくは棚付2連紙巻器の取扱説明書をご覧ください。

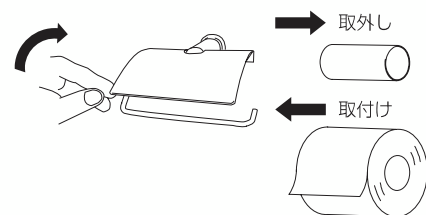
1連紙巻器/樹脂製紙巻器（CF-U12-MB）・ステンレス製紙巻器（BB-AU4）

■トイレットペーパーの取付け

①紙切り板を上に持ち上げます。

②トイレットペーパーを向かって右から芯棒に差し込みます。

※この紙巻器に芯なしペーパーは使用できません。

●ステンレス製紙巻器

ビルトイン紙巻器（横引き配管タイプ専用）

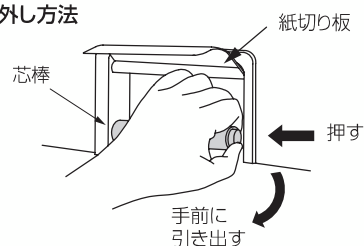
■トイレットペーパーの交換

取外し・・・・・ 芯棒を右または左に押しながら、手前に引き出して取り出します。

取付け・・・・・ トイレットペーパーを通した芯棒の先を紙巻器の凹部に合わせて、もう一方の先端を押しながら取り付けます。

※この紙巻器に芯なしペーパーは使用できません。

●取外し方法

紙切り板
芯棒
押す
手前に引き出す

棚板（ミドルキャビネット、コーナーミドルキャビネットの場合）

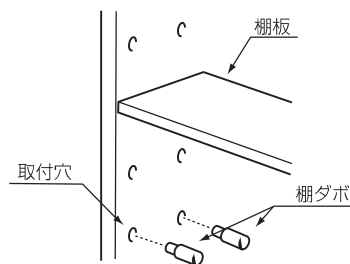
■棚板の取付け

①ミドルキャビネット内面の取付穴に、棚ダボ（4個）をしっかり奥まで差し込みます。

※棚板の高さは、棚ダボの差込み高さにより決まります。

②棚板裏のくぼみに棚ダボが合うように棚板をのせます。

③棚にガタツキ等がなく、しっかり乗っていることを確認のうえ、収納物をのせてください。

棚板
取付穴
棚ダボ

⚠ 注意

●棚ダボは確実に奥まで差し込み、棚がガタツキ等なくしっかり取り付けられていることを確認のうえ使用してください。
※差込みや取付けが不十分だと、棚板が落下して破損やケガの恐れがあります。

お手入れ方法

用意するもの

汚れの種類や場所によって、適切な洗剤・道具を使用してください。
また、使ってはいけない洗剤もありますので、ご注意ください。

⚠ 注意

洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。
※誤った使用により商品が破損し、ケガをする恐れがあります。

塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※水に反応して発生するガスが金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

排水口に有機溶剤や薬品を流さない。
※排水管に穴が開いて、漏水する恐れがあります。

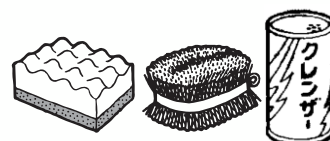
■道具

種　類		
スポンジ		やわらかいポリウレタンフォームがお勧めです。
やわらかい布		ぞうきんやふきん、使い古したタオルやTシャツ等。
歯ブラシ		使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。
ゴム手袋		中に綿素材の手袋をして、ゴム手袋をすると肌荒れ防止になります。

■洗剤

種　類		洗剤（例）
浴室用洗剤（中性）	水アカや石けんカス等の汚れに強い成分が配合されています。 **「おすすめ便利グッズ」** スーパークリーナー 万能Jrくん	お風呂のルック（ライオン）、マジックリン泡立ちスプレー（花王）
浴室用クリームクレンザー	キッチン用よりも粒子の細かい研磨剤が入ったクリーム状の洗剤です。	クリームクレンザージフ･バスクリーナー（ユニリーバ）、お風呂のルックみがき洗い（ライオン）
住宅用洗剤	手アカやホコリ等の汚れを浮かして落としやすくします。	かんたんマイペット（花王）、ルックオーツークリーナー（ライオン）
ガラスクリーナー	手アカ等の汚れを落とし、ふきムラが残りません。	ガラスマジックリン（花王）、ガラスルック（ライオン）
排水パイプ洗浄剤	配管内の汚れやヌメリを落とします。	時間半分密着ジェル（ジョンソン）、ルック濃厚パイプマン（ライオン）

お願い

お手入れの際に、研磨力の強いクレンザーや固いナイロンスポンジ等を使わないでください。
※キズが付く恐れがあります。

毎日のササッとお手入れ

汚れは放っておくと固くガンコな汚れになり、落ちにくくなります。次の2点をポイントに汚れやすい手洗器まわりだけでも、1日の終わりにササッとお手入れする習慣を身につけましょう。

お手入れのポイント

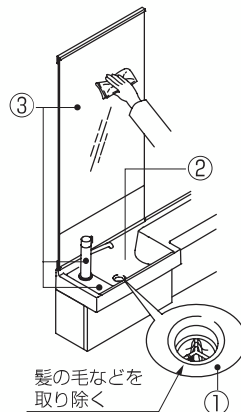
汚れのモトを絶つ

石けんや皮脂分が残っているとカビやヌメリ、金属石けんの原因となります。

水滴を残さない

水分が残っていると、水アカの原因となります。水アカは水道水に含まれるケイ酸がたまった汚れで水に溶けないため、放っておくとガンコな汚れになります。

①ヌメリ汚れが付きやすい排水口のゴミを取り除きます。
②目立つ汚れがなくても、1日の終わりに手洗器内と排水口を、やわらかいスポンジか布で水洗いして、付着した石けんカス等を洗い流しましょう。

③鏡や水栓、カウンターに飛び散った水滴や、手洗器内の水分をやわらかいきれいな布でふき取りましょう。

豆知識

金属石けんとは？

手洗器内に発生する、白っぽいざらついた汚れです。
水道水に含まれる金属イオン（カルシウム、マグネシウム、銅等）と石けん成分や皮脂が結びついてできる水に溶けない汚れなので、こまめなお手入れで石けんカス等を取り除いてください。

しっかりお手入れ

毎日のササッとお手入れに、週1度、月1度のしっかりお手入れを加えてキレイを保ちましょう。
それでも発生してしまったガンコな汚れは「汚れが目立つ場合」をご覧のうえ、適切にお手入れしてください。

鏡

■汚れが目立つ場合

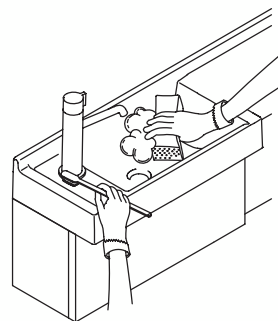
①ガラスクリーナーを鏡に吹き付けます。
②やわらかいきれいな布でクリーナーをふき取ります。

水栓金具・カウンター・手洗器

■週に1度

①やわらかい布、またはスポンジに浴室用洗剤を付けて汚れを落とします。
※水栓の根元など細かい部分は、やわらかい歯ブラシでこすってください。

②洗剤が残らないよう、水で洗い流すか、やわらかいきれいな布で水ぶきします。

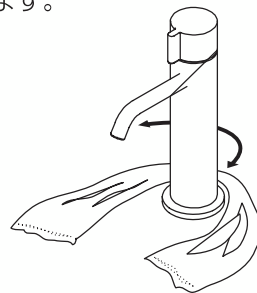
お手入れ方法

■汚れが目立つ場合

「週に1度のお手入れ」で落ちない水アカや金属石けん等の固着した汚れは、浴室用クリームクレンザーでこすり落とします。

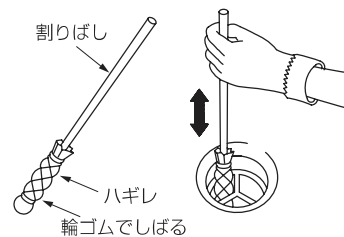
①やわらかい布または歯ブラシに浴室用クリームクレンザーを付けて、汚れをこすり落とします。
※強い力でこするとキズが付く恐れがあります。クレンザーで4、5回磨いては水ぶきをくり返すと、力を入れずに汚れを落とせます。

②クレンザーが残らないよう、水で洗い流すかやわらかい布で水ぶきします。

ワンポイント

水栓金具のお手入れには使い古したストッキングがおすすめです。
水栓にぬらしたストッキングを巻きつけふくと、ストッキングの細かい繊維と伸縮性により、せまくてお掃除しにくい水栓裏もラクにお掃除できます。

排水口

■週に1度のお手入れ

割りばしにガーゼやハギレを巻き、輪ゴムでしばっておそうじ棒を作ります。おそうじ棒に浴室用洗剤を数滴付けてヌメリ等の汚れを落とし、水で洗い流します。

排水トラップ

■月に1度のお手入れ

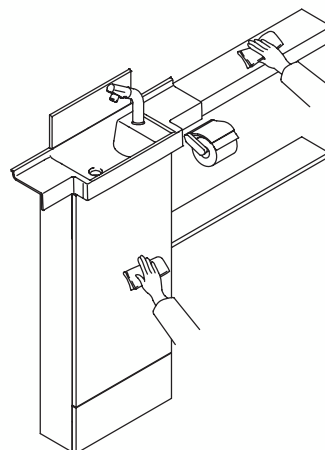
排水パイプ用洗浄剤を使用して、排水パイプ内のヌメリや汚れを取り除きます。
※排水パイプ用洗浄剤が排水口、排水パイプ以外に付かないように気をつけてください。変色や変形する場合があります。

アクセサリー（タオル掛け、手すり、バックパネル、紙巻器）・木製カウンター・キャビネット

■週に1度のお手入れ

やわらかいきれいな布で水ぶきします。

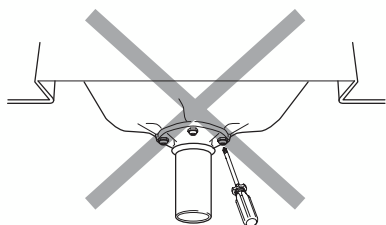
■汚れが目立つ場合

住宅用洗剤を付けたやわらかい布で、ホコリや汚れをふき取ります。

長くお使いいただくために

排水が遅いと感じたら

●排水トラップにゴミがたまっていると排水が遅くなることがあります。
次の手順で排水トラップのお手入れを行ってください。
●排水トラップのお手入れ方法は、トイレ手洗カウンターのタイプや温水自動水栓の有無により異なります。

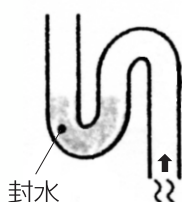
⚠ 警告

手洗器と排水器具は絶対に分解しないでください。
※漏水の原因となります。また、カウンターに取り付かなくなる恐れがあります。

⚠ 注意

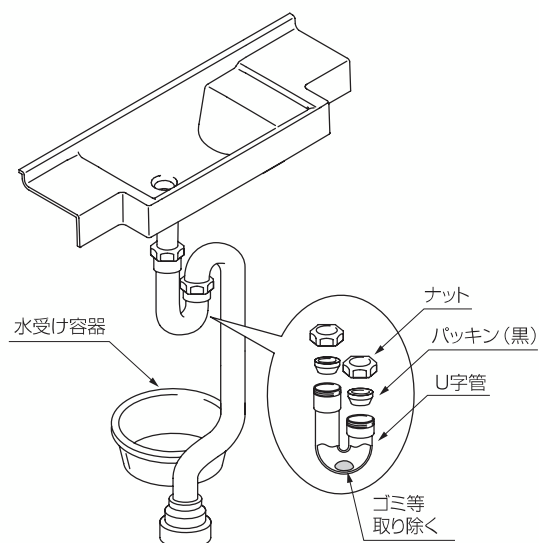
●ナット類はしっかり締め付けてください。
※締付けが不十分だと、漏水を起こす恐れがあります。
※樹脂製トラップの場合は手で締め付けてください。工具で過剰に締めると破損する恐れがあります。

●パッキンは消耗品です。キズや変形がみられた場合は、必ず交換してください。
※漏水の原因となります。

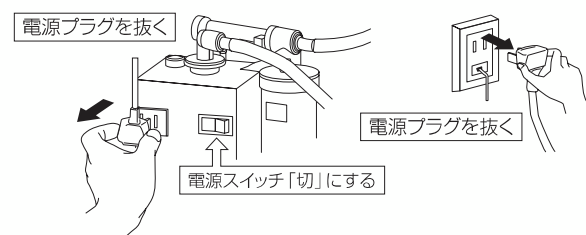
ワンポイント

排水トラップとは、配管の途中に水（封水）をためて、下水から悪臭や害虫が室内に侵入するのを防ぐものです。排水トラップのお手入れ後は、必ず10〜20秒水を流して、封水をためてください。

排水トラップのお手入れ（ベースキャビネット内に排水トラップがある場合）

①排水トラップのU字管の真下に水を受ける容器を置き、締付ナットを右に回して、U字管を取り外します。
②浴室用洗剤をつけたやわらかい布または歯ブラシで、U字管内の汚れやたまったゴミを取り除きます。
③ナット、パッキン、U字管を元通りに取り付けた後、水を流して排水トラップから漏水がないことを確認します。

※樹脂製排水トラップの場合は、ナットは工具を使わず、手でしっかり締めてください。

排水トラップのお手入れ（温水自動水栓の場合）

●詳しくは小型自動温水器の取扱説明書をご覧ください。

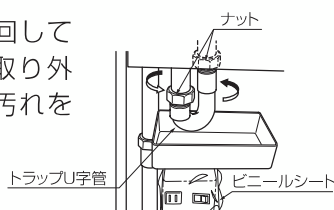
①電気温水器の電源スイッチを「切」にして、機器本体と自動水栓の電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 警告

通電状態で作業を行なうと、
漏電や感電の恐れがあります。

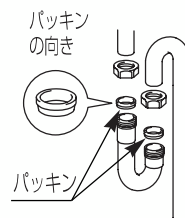
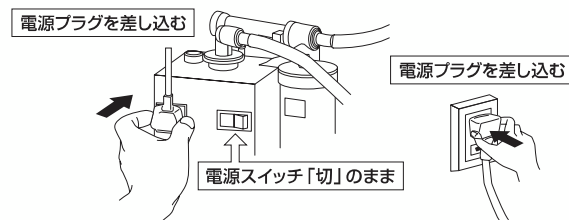
②電気温水器本体にビニールシートなどをかぶせ、排水トラップと電気温水器の間に水を受ける容器をおきます。

⚠ 注意

電気温水器に水がかからないようご注意ください。もし水がかかった場合はすぐに乾いた布でふき取ってください。
※故障や感電の原因となります。

③締付ナットを右に回してトラップU字管を取り外し、ゴミやヌメリ汚れを取り除きます。

※樹脂製排水トラップの場合は、手でナットをゆるめてください。

④トラップU字管を元通りに取り付けます。

※パッキンを必ず元通りに取り付けてください。
※樹脂製排水トラップは、手でしっかりと締め付けてください。工具で過剰に締め付けると破損する恐れがあります。

⑤電気温水器と自動水栓の電源プラグをコンセントに差し、水栓に手をかざして水を流し排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

※この時、電源スイッチは「切」のままにしてください。

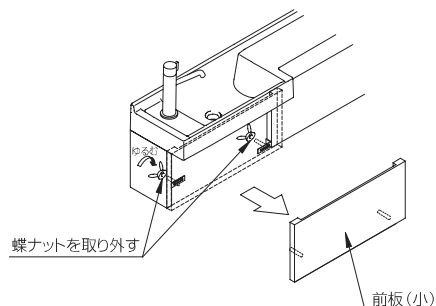
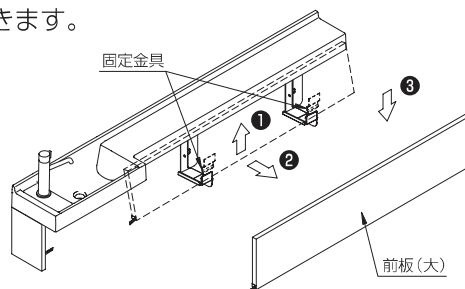
⚠ 注意

電気温水器内の水が空の場合は電源スイッチを「入」にしないでください。
※空だきとなり、機器の破損やヤケドする恐れがあります。

⑥吐水口から安定して水が出るまで流し続けて、電気温水器のタンクが満水になるのを確認し、電源スイッチを「入」にします。

排水トラップのお手入れ（横引き配管の場合）

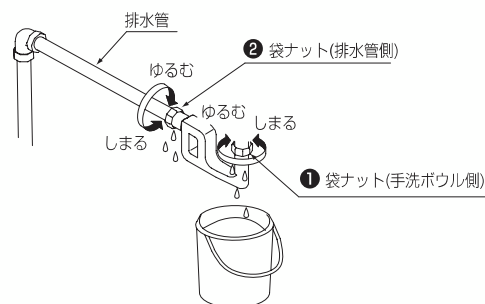
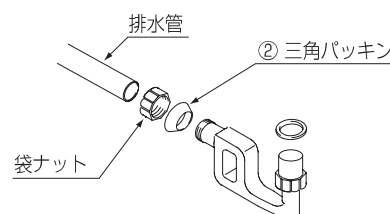
■前カバーの取り外し

①ベースキャビネット付の場合はベースキャビネットの扉を開けます。
②前板（小）を取り外します。
前板裏面の蝶ナット（2ヶ所）を取り外し、そのまま手前に引き抜きます。

③前板（大）を取り外します。
前板（大）の下側を持ち、いったん上まで押し上げて手前に傾けながら、ゆっくりと下に引き抜きます。

⚠ 注意

●前カバー取り外しの際は、必ず前板（小）から先に取り外してください。
※無理に取り外しを行いますと、破損やケガの原因となります。
●ベースキャビネット付の場合、前カバーの取付け、取り外しの際はベースキャビネットの扉を開けてください。
※前板（大）がベースキャビネットにぶつかり、扉にキズがつく恐れあります。
●前板（小）を取り外す際には前カバー下からブラケットの位置を確認し、ブラケット等に手をぶつけないようご注意ください。
※ケガをする恐れがあります。

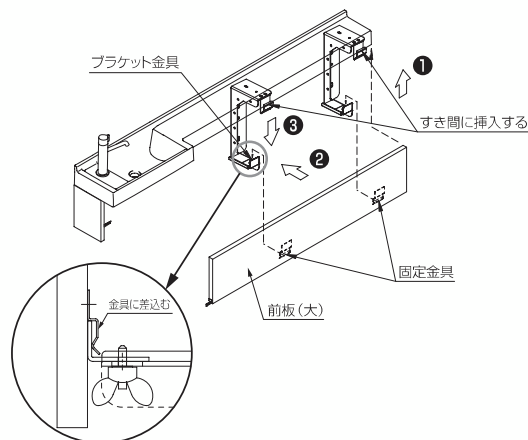
■排水トラップのお手入れ

①排水トラップの真下に封水（トラップ内にたまっている水）を受ける容器を置きます。

②排水トラップの袋ナットを図の❶、❷の順にゆるめて、排水トラップを外し、トラップ内のゴミを取り除きます。

③排水トラップのお手入れ後、再度袋ナットを手で締め付けます。
※袋ナット、三角パッキンを外した場合は、図のとおり袋ナット、三角パッキンの順に排水管に通して袋ナットを締め付けてください。

④一度水を流し、排水トラップや袋ナット、排水管から水が漏れていないことを確認します。

■前カバーの取付け

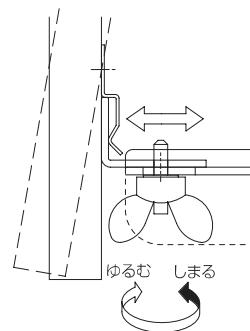
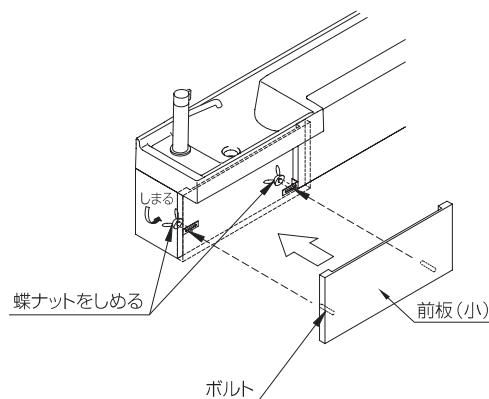
①ベースキャビネット付の場合はベースキャビネットの扉を開けます。

②前板（大）を取り付けます。
前板（大）の端とカウンターの端を合わせて、カウンターとブラケットのすき間に差し込み上に当たる位置まで押し上げます。前板（大）をブラケットに押し当てながらゆっくり下げて行き、前板（大）の固定金具をブラケット下側の金具に引っ掛けます。

注意

ブラケット下部の金具が前板（大）の固定金具にしっかりと差し込まれているかご確認ください。
※不完全ですと、前カバーが落下して破損やケガをする恐れがあります。

ワンポイント

●前板（大）の調整
前板（大）が差し込みにくい場合や傾いている場合などは、ブラケット下側のL型金具の蝶ナットをゆるめて前後にスライドさせ、調整を行ってください。

※調整後はかならず蝶ナットを締め付けて、しっかりと固定してください。

③前板（小）を取り付けます。
前板（小）裏面のボルトを本体側の取付金具（2ヶ所）の穴に差し込み、蝶ナットを締めて、しっかりと固定します。ベースキャビネット付の場合は、ベースキャビネットの扉と前板（小）の端を合わせてください。ベースキャビネットがない場合は、カウンターの端と前板の端を合わせてください。

水栓の吐出量が多いまたは少ないと感じたら

止水栓を操作して吐水量を調節してください。

■水量の調節

お願い

●止水栓を閉めるときは何回回したかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要になります。

※元の位置に戻しておかないと取付時と設定が変わり、手洗器から水があふれる恐れがあります。

●横引き配管の場合

前カバーを取り外し、手洗器と反対の壁側にある止水栓を調節します。

※前カバーの取り外し方は、18ページ「前カバーの取り外し」をご覧ください。

●横引き配管で立管カバー付の場合

立管カバーを取り外し、止水栓を調節します。立管カバーは側面のねじを取り外し、そのまま手前に取り出します。

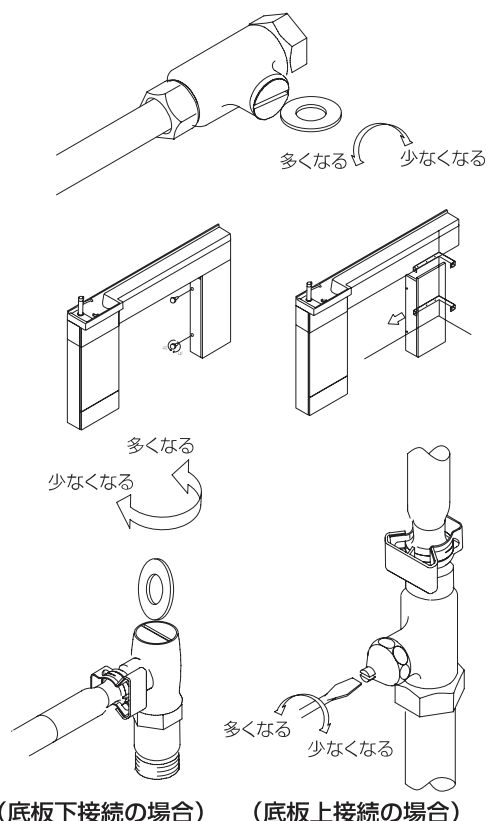
●ベースキャビネット内に配管がある場合

ベースキャビネットの扉を開けて底板を取り外し、止水栓を調節します。

※底板上接続の場合は底板を取り外さず調節ができます。

①水栓金具のハンドルをいっぱいまで回して吐出します。

②止水栓の調節部をマイナスドライバーまたはコイン状の物で回して適量に調節します。

止水栓の操作	
水量を多くする	調節部を反時計回りに回す
水量を少なくする	調節部を時計回りに回す
閉める	調節部を時計回りいっぱいまで回す

（底板下接続の場合）　（底板上接続の場合）

吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

泡沫口のゴミを取り除いてください。

■泡沫口のお手入れ（自動水栓の場合）

①泡沫口を矢印「ゆるむ」の向きに回して取り外します。

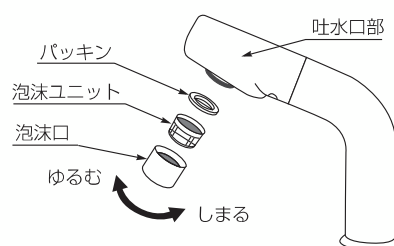
●泡沫口を取り外すときは、布などをあてた上から工具を使用してください。

※泡沫口に直接工具をあてると、キズがつく恐れがあります。

②泡沫ユニットについたゴミ、水アカを歯ブラシ等で取り除きます。

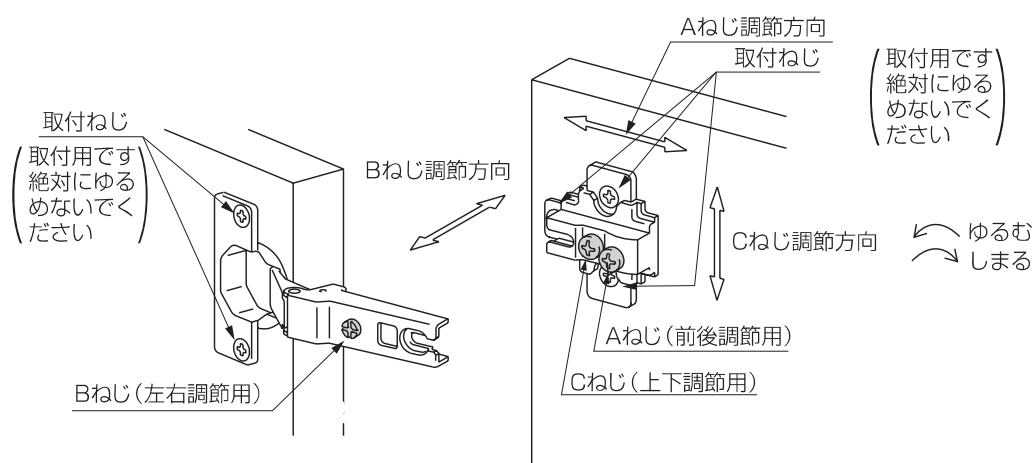
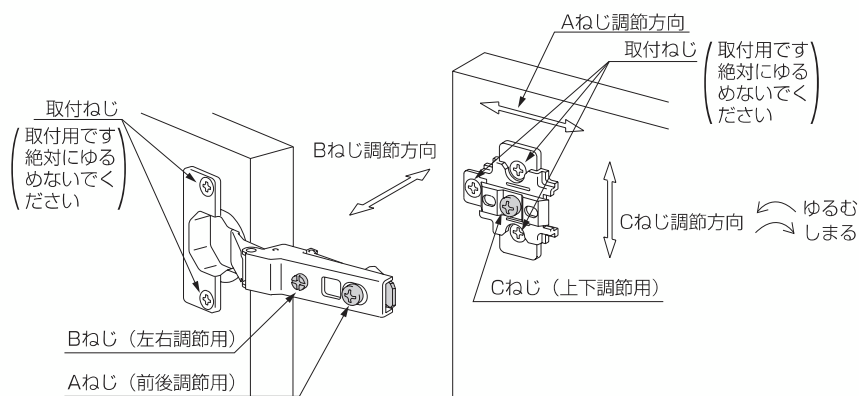
③泡沫口を矢印「しまる」の向きに回して取り付けます。

●泡沫口を締め過ぎないでください。

※パッキンがつぶれて止水効果が低下し、漏水する恐れがあります。

扉の開閉が滑らかでなくなったら

扉の水平・垂直が出ていないと、扉がスムースに開閉しません。蝶番（ヒンジ）やキャッチ・ラッチの調節により扉を調節してください。

扉の調節

ベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

ミドルキャビネット・コーナーミドルキャビネット（ワンタッチ式）の場合

⚠ 注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。

※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下しケガをする恐れがあります。

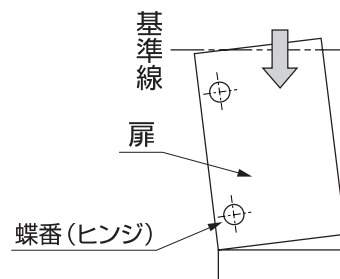
各ネジの調節量
Aねじ…前方向2.0mm、後方向1.0mm
Bねじ…右へまわす→手前へ4mm
　　　　左へまわす→後方へ1mm
Cねじ…上方向1.5mm、下方向1.5mm

長くお使いいただくために

■扉の先端が上がっているとき

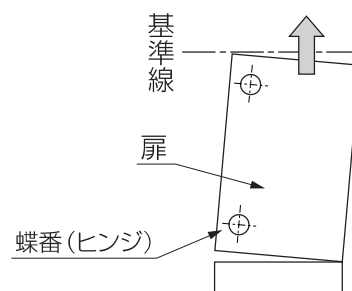
①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、
　扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

②扉を閉めて確認します。

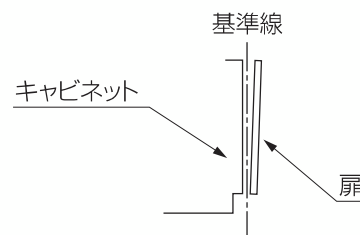
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

■扉の先端が下がっているとき

①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、
　扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

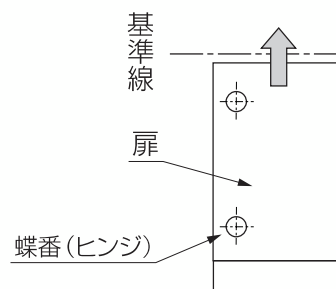
②扉を閉めて確認します。

③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

■扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして
　前後の正しい位置にします。

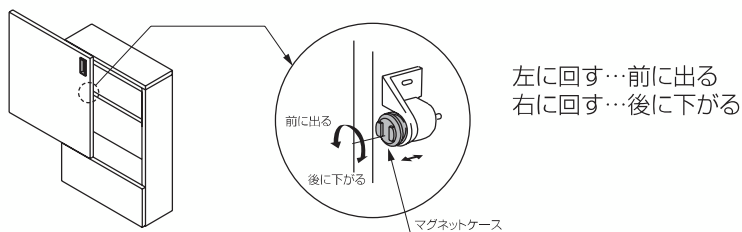
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

■扉に段差があるとき

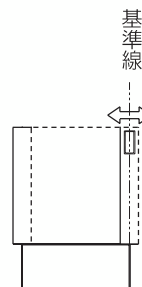
①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下
　させて正しい位置にします。

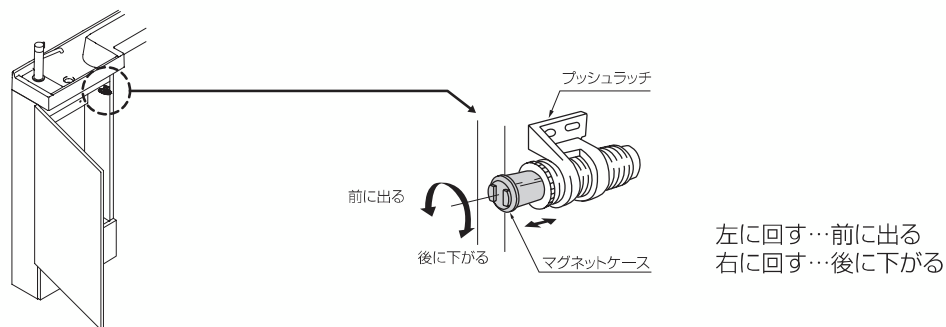
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。

サイドベースキャビネット（マグネットキャッチ）の場合

左に回す…前に出る
右に回す…後に下がる

■扉が左右にずれているとき

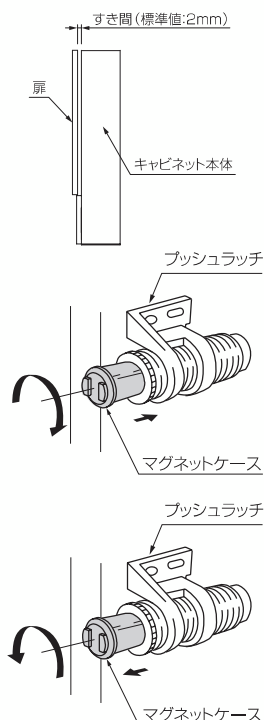
扉裏のマグネットケースをマイナスドライバーやコイン状のもので
左右に回して、扉を正しい位置に調節します。

マグネット式プッシュラッチの調節
（ベースキャビネット・ミドルキャビネット・コーナーミドルキャビネットの場合）

左に回す…前に出る
右に回す…後に下がる

■プッシュ式扉の開閉が滑らかでない

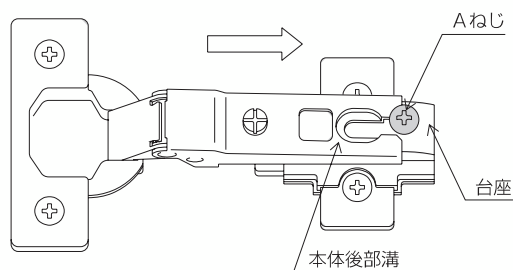
①扉と本体のすき間を確認します。
（基準値：すき間2mm）

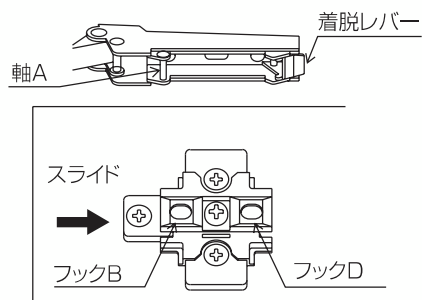
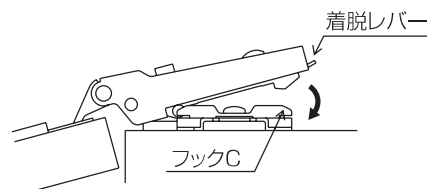
②扉と本体のすき間が大きい場合：
マグネットケースを右に回します。

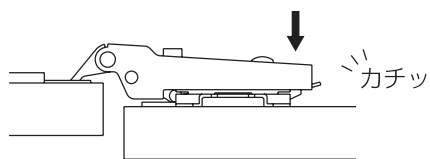
③扉と本体のすき間が小さい場合：
マグネットケースを左に回します。

④扉を開閉してプッシュラッチが正しく
動作するか確認します。

扉の取付方法

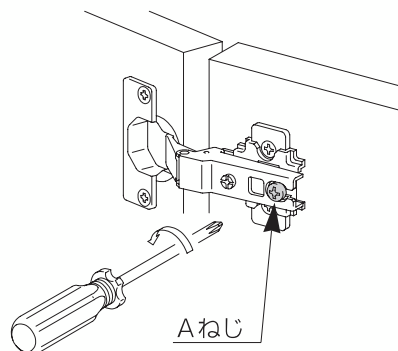
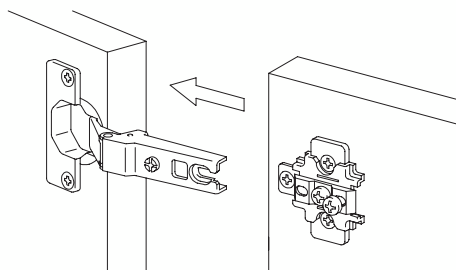
ベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

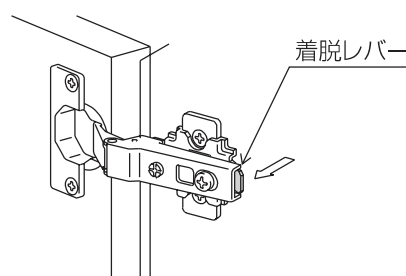
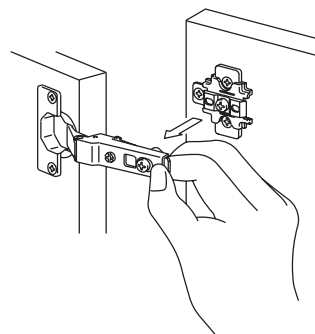
①本体後部溝を台座のＡねじに差し込み、
　Ａねじを締め付けます。

ミドルキャビネット・コーナーミドルキャビネット（ワンタッチ式）の場合

①蝶番の軸Ａを矢印の向きにスライドさせて
　フックＢに引っ掛けます。

②蝶番の着脱レバーをフックＣに合わせます。

③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで
　押します。

長くお使いいただくために

扉の取り外し方法

ベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

①Aねじをドライバーでゆるめます。

②扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

ミドルキャビネット・コーナーミドルキャビネット（ワンタッチ式）の場合

①蝶番の着脱レバーを矢印の向きに引っ張ります。

②扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

⚠ 注意

●調節ねじA・B・C以外のねじをゆるめたり、外したりしないでください。

※扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

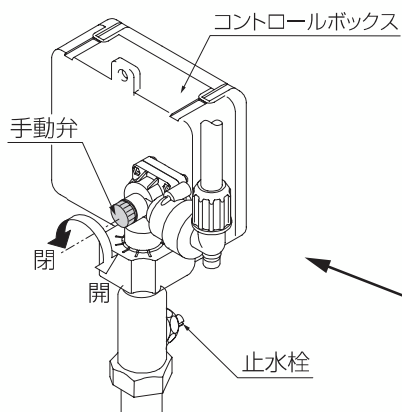
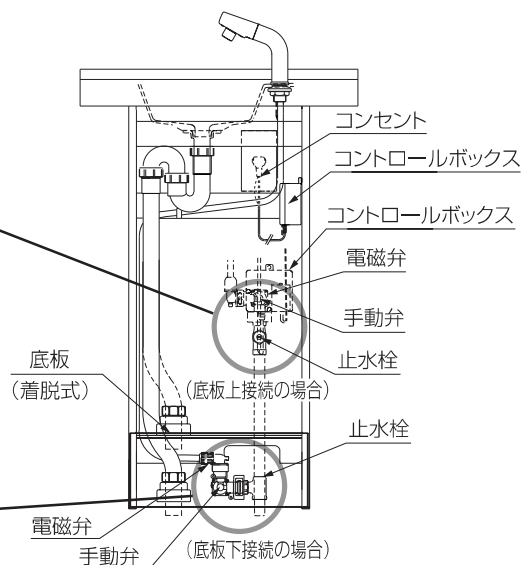
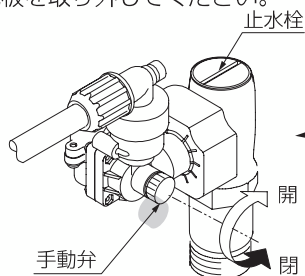
水栓の水抜き（寒冷地仕様）

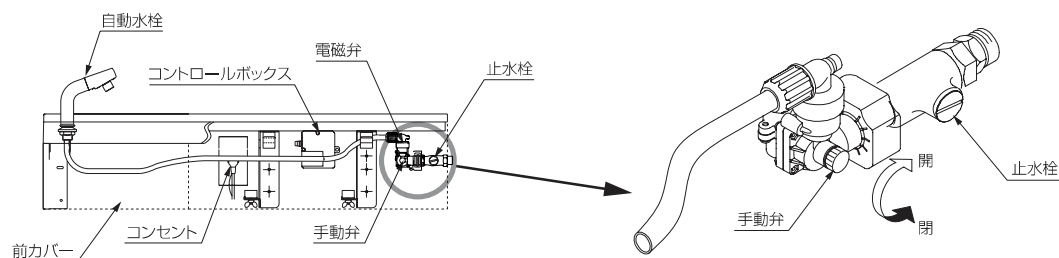
●水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。
●凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

自動水栓・温水自動水栓の場合

①建築側の元栓にある水抜き栓を操作して、配管内の水を抜きます。
②自動水栓の手動弁を右いっぱいに回して開け、水栓本体内の水を抜きます。
③10秒程経ってから手動弁を左いっぱいに回し、再び閉じます。
※再通水直後は、電磁弁内部の凍結により、自動水栓が作動しない場合があります。

■ベースキャビネット内に排水トラップがある場合

底板上接続の場合

■横引き配管の場合

※前カバー、立管カバーを取り外してください。
前カバーの取り外し方は、18ページ をご覧ください。
立管カバーの取り外し方は、20ページ をご覧ください。

ハンドル水栓の場合

■凍結予防のしかた

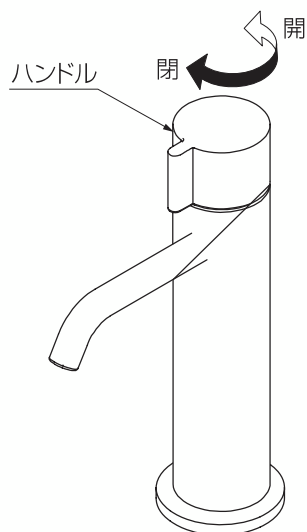
凍結が予想される場合は、室内を保温して、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は、次の手順に従って配管と水栓の水抜き操作を同時にしてください。

①建築側の元栓にある水抜き栓を操作して配管内の水を抜きます。

②ハンドルを反時計方向に回して全開にし、水栓本体内の水を抜きます。

③水栓の水が抜けたら、ハンドルを回して閉めます。

※開けたまま放置すると、そのまま凍結してハンドルを閉止できなくなることがあります。凍結した場合は無理にハンドルを回さず自然解凍してください。

アフターサービス

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目を確認してください。

■キャビネット

Q	A	処置	参照ページ
扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	P21
扉の先端が上がっている 扉の先端が下がっている 扉と側板のすき間が上下で異なる 扉に段差がある	蝶番の調節が十分でない	扉のずれを調節します	P21
プッシュ扉の開閉が滑らかでない	プッシュラッチの調節が十分でない	プッシュラッチを調節します	P21

■水　栓

Q	A	処置	参照ページ
吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P20
水が止まらない	パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください	P29

■温水自動水栓

Q	A	処置	参照ページ
お湯が出ない	電源スイッチが切れている	電源スイッチを入れてください	P11
	家庭内のヒューズや電源ブレーカーが切れている	確認してください	
	過昇防止用安全装置が作動している	電気温水器の取扱説明書に従って、復帰してください	

■排水口

Q	A	処置	参照ページ
手洗器から水があふれる	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P20
排水しない、あるいは排水がスムーズではない	排水口が詰まっている	排水口を掃除します	P16
	排水管が詰まっている	排水管を掃除します	P16

■排水管

Q	A	処置	参照ページ
漏水する	排水管のナットがしっかり閉まっていない	ナットをしっかり閉めます	P16
	その他の理由	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください	P29

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」28ページを参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合はお客さま相談センターにご相談ください。

⚠ 警告　お取り扱いの際は、必ずお守りください。

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。

保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●蛍光管などの消耗品

修理をご依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
修理を依頼してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
修理に関しては必ず保証書をご提示ください。保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたいこと

●ご住所・ご氏名・お電話番号
●商品名・品番（1ページ「品番を調べる」参照）
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（28ページ「故障かな？と思ったら」参照）
●訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問合せ先

お買い求めの販売店、またはLIXIL修理受付センターに連絡してください。
●お買い求めの販売店
●LIXIL修理受付センター
TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～20：00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

仕様	カウンターキャビネットタイプ（ベーシック、フルパック）	ウイングカウンタータイプ	ウイングカウンター（ウッドボード）タイプ	カウンターキャビネット（ウッドボード）タイプ	カウンターキャビネットタイプ（横引き配管付） カウンターフロートタイプ（横引き配管付）
カウンター					
品番	AK-170AB（間口）L（R）	AK-170AC（間口）C			AK-170AF（間口）L（R）
カラー	グラニットグレージュ:CG-11　プレーンホワイト:PH-01				
カウンター厚さ	5mm				
材質	人造大理石				
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	（900～1700）×175×73	（700～1100）×175×73	（750～810）×175×73	（1670～1700）×175×73	（900～1700）×175×73
	キャビネットと組み合わせた場合の高さ:870mm				
排水器具	樹脂製 LF-AU6GY				樹脂製 LF-AU6GP
排水トラップ	床壁排水:LF-AU4S				壁排水:LF-T14S
排水アダプター	WF-8				壁排水:ー　床排水:WF-8

水栓金具、止水栓	カウンターキャビネットタイプ（ベーシック、フルパック、ウッドボード） ウイングカウンタータイプ（ウッドボード）		カウンターキャビネットタイプ（横引き配管付） カウンターフロートタイプ（横引き配管付）	
仕様	水栓金具品番	止水栓品番	水栓金具品番	止水栓品番
ハンドル水栓	LF-48-MB3 （寒冷地共用品）	壁床給水共通:LF-3D-S（1050）-MB （ホース付品番） A-3730-2（止水栓のみ） （寒冷地共用品）	LF-48-MB3 （寒冷地共用品）	壁給水: LF-3SD(60)-MB(P1) LF-3SDK-MB,DP （寒冷地共用品） 床給水: LF-3SDK(445)-MB2(1P) （寒冷地共用品）
自動水栓	AM-67（100V）-MB2 （寒冷地用:AM-67N（100V）-MB2）	壁床給水共通:LF-3DK-MB （寒冷地共用品）	AM-67（100V）-MB2 （寒冷地用: AM-67N（100V）-MB2）	壁給水: LF-3SD(60)-MB(P1) LF-3SDK-MB,DP （寒冷地共用品） 床給水: LF-3SDK(445)-MB2(1P) （寒冷地共用品）
温水自動水栓	AM-67（DEN）-MB3 （寒冷地用:AM-67N（DEN）-MB3） 電気温水器:EHMN-T1S1-KC1	壁床給水共通:LF-3DK-MB （寒冷地共用品）		
ハンドル水栓【オプション】（底板上接続）	床給水・床排水:LF-48-MB3 （寒冷地共用品） 壁給水・床排水:LF-48-MB3 （寒冷地共用品）	床給水・床排水:LF-3SEK,DP （寒冷地用:LF-3SEK-U,DP） 壁給水・床排水:LF-3DK-MB （寒冷地共用品）		
自動水栓【オプション】（底板上接続）	床給水・床排水:AM-67（100V）-MB3 （寒冷地用:AM-67N（100V）-MB3） 壁給水・床排水:AM-67（100V）-MB3 （寒冷地用:AM-67N（100V）-MB3）	床給水・床排水:LF-3SEK,DP （寒冷地用:LF-3SEK-U,DP） 壁給水・床排水:LF-3DK-MB （寒冷地共用品）		

カウンターブラケット	カウンターキャビネットタイプ（ベーシック、フルパック、ウッドボード） ウイングカウンタータイプ（ウッドボード）	カウンターキャビネットタイプ（横引き配管付） カウンターフロートタイプ（横引き配管付）
仕様	ブラケット ＋ ブラケットカバー	ー
品番	MBF-622	MBF-624
材質	ブラケット:鉄 2.3t（亜鉛メッキ仕様）　カバー:PP樹脂	鉄 2.3t（亜鉛メッキ仕様）
サイズ	79×83×64	93×87×190

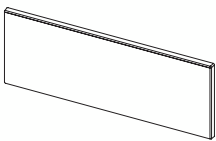
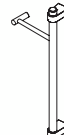
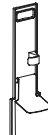
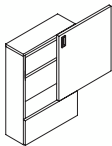
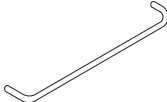
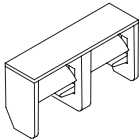
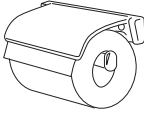
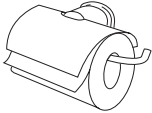
ウッドボードカウンター	
本体	木組構造（パーティクルボード）
カラー	KA:シルクウッド（ダップ化粧板）　KJ:ダークウッド（ダップ化粧板） ZL:ゼブラウッドミドル（ウレタンコート紙）　ZZ:ゼブラウッドブラック（ウレタンコート紙）

キャビネット共通項目	
本体	木組構造（パーティクルボード）
扉カラー	P1：ホワイト（メラミンコート紙） KJ:ダークウッド（ウレタンコート紙） ZZ:ゼブラウッドブラック（ウレタンコート紙） KA:シルクウッド（ウレタンコート紙） ZL:ゼブラウッドミドル（ウレタンコート紙） QH:鏡面白（PETシート）

ベースキャビネット	カウンターキャビネットタイプ（ベーシック、フルパック）	ウイングカウンタータイプ ウイングカウンター（ウッドボード）タイプ カウンターキャビネット（ウッドボード）タイプ	カウンターキャビネットタイプ（横引配管付） カウンターフロートタイプ（横引配管付）
間口（mm）	360	360	360
品番	AUN-362L(R)	AUN-362C	AUON-362L(R)
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	360×135×843	360×135×822	360×132×635
付属品	―	―	―

サイドベースキャビネット	
間口（mm）	360
品番	AUPC-362L（R）
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	360×135×540
付属品	―

ミドルキャビネット	
間口（mm）	270
品番	AUK-272C
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	270×155×800
付属品	棚板（2枚）

コーナーミドルキャビネット	
間口（mm）	270
品番	AUKM-272C
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	270×150×1005
付属品	棚板（2枚）、クリアバンポン

木製サイドカウンター		
カラー	W:ホワイト（高圧メラミン化粧板） KJ:ダークウッド（ウレタンコート紙） ZZ:ゼブラウッドブラック（ウレタンコート紙） KA:シルクウッド（ウレタンコート紙） ZL:ゼブラウッドミドル（ウレタンコート紙）	
間口（mm）	1340	
品番	BB-AU3-S	BB-AU3
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	1340×118×18	1340×118×18
付属品	ブラケット 2個	ブラケット 3個

オプション

オプション品

※取付けに関しては、注文時にご確認ください。
※2011年4月現在の価格です。※仕様・価格は予告なく変更する場合があります。

品名	バックパネル	バックパネル専用ミラー	化粧鏡（下部すりガラス仕様）
品番	BB-AU1	CBA-107	CBA-108
主な材質	HIPS	鏡、ステンレスジョイナー	鏡、ステンレスジョイナー
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	360×11×130	358×12×800	358×12×930
外観			
価格	￥4,000	￥16,500	￥19,500

品名	化粧鏡	タオル掛付手すり	ブラシ収納
品番	CBA-105	LKF-1S-MB2	BB-AU2
主な材質	鏡、アルミジョイナー	タオル掛バー:ステンレス タオル掛ブラケット:亜鉛ダイキャスト （ニッケルクロムメッキ仕上げ） 手すり:天然木（ブナ材） 手すりブラケット:亜鉛ダイキャスト	本体：PP 前板：HIPS
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	200×10×900	244×85×690	115×80×420
外観			
価格	￥12,500	WA、KA、KJ、ZL、ZZ ￥17,500	￥2,000

品名	サイドベースキャビネット		ミドルキャビネット		扉取付けタオル掛
品番	AUPC-362L（R）		AUK-272C		BB-AU5
主な材質	化粧パーティクルボード、合板		化粧パーティクルボード、合板		スチール（ニッケルクロムメッキ仕上げ）
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	360×135×540		270×155×800		260×36×10
外観					
価格	P1、KA、KJ	￥41,000	P1、KA、KJ	￥26,000	￥3,000
	QH、ZL、ZZ	￥46,000	QH、ZL、ZZ	￥31,000	

品名	2連紙巻器	樹脂製紙巻器	ステンレス製紙巻器
品番	CF-A63-MB2/WA	CF-U12-MB	BB-AU4
主な材質	紙巻器：ABS 棚：HIPS	PP	ステンレス
サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）	328×107×144	157×（66）×（109）	150×（89）×（131）
外観			
価格	￥4,000	￥2,600	￥8,000

<table>
<tr><td>品名</td><td colspan="2">木製サイドカウンター
（サイドベース併設）</td><td colspan="2">木製サイドカウンター
（サイドベース併設なし）</td><td>芯無しペーパー用芯棒</td></tr>
<tr><td>品番</td><td colspan="2">BB-AU3-S</td><td colspan="2">BB-AU3</td><td>A-4326</td></tr>
<tr><td>主な材質</td><td colspan="2">化粧パーティクルボード</td><td colspan="2">化粧パーティクルボード</td><td>ポリスチレン</td></tr>
<tr><td>サイズ（mm）（幅×奥行×高さ）</td><td colspan="2">1340×118×18</td><td colspan="2">1340×118×18</td><td>151×20×20</td></tr>
<tr><td>外観</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">価格</td><td>KA、KJ</td><td>￥12,500</td><td>KA、KJ</td><td>￥15,500</td><td rowspan="2">￥330</td></tr>
<tr><td>W、ZL、ZZ</td><td>￥17,500</td><td>W、ZL、ZZ</td><td>￥20,500</td></tr>
</table>

交換部品およびオプション品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の販売店で お求めください。	LIXILパーツショップ水まわり部品販売の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-126-015** 受付時間9:00～17:00 （土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く）

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

<table>
<tr><td colspan="3">品名または品番：アクアフィット</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間
取付日より　　2ヶ年</td><td>取付日
年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客さま</td><td>おなまえ</td><td rowspan="3">取扱店名

TEL　（　　　）　　－</td></tr>
<tr><td>おところ</td></tr>
<tr><td>おでんわ
（　　　　）　　－</td></tr>
</table>

無効

お客さまへ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   (1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
   (2) 取付説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
   (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
   (10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
   (13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
   (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   (16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
   (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
　　　　　土日・祝日　9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

お求めの販売店または
LIXIL 修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11　受付時間　9:00～20:00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

袋:PE

GMB-0301(14075)